

# 37. 公設国際貢献大学校

岡山県 哲多町

## ●国際規模での人道援助に関わる人材育成を目的とした施設として活用

### 概要

用途： 国際的人道援助に関する施策研究、並びに人材育成を行う研修施設  
廃校理由： 過疎化による人口減  
廃校年： 平成13年  
旧学校名： 大田小学校

### 建物

構造： 鉄骨造1階建て  
建築面積： 735㎡  
延床面積： 735㎡



### 財源

整備： 県補助金（フロンティア21地域活力創出支援事業）、地総債、町の一般財源  
運営維持管理： 町の特別会計

### 運営主体

名称： 哲多町教育委員会  
形態： 地方公共団体

### 運営状況

主な利用者： 地区内外の高校生・大学生から一般社会人  
利用者数： 500人／年

### 調査担当者のコメント

- AMDA(国際医療ボランティア組織)がミャンマー国メッティーラ市に建設した子供病院を哲多町が支援していたことがきっかけでAMDAとの交流があり、そのAMDAが持つ国際大学構想をも同町の廃校施設を活用して実現した。

### 管理者、利用者から一言

- 公設国際貢献大学校は“やさしさを海の向こうへ”を創学の精神に、国際的な人道援助活動などの国際貢献ができる優秀な人材を育成することを目的としています。(管理者)
- 本大学校で実施された「高校生国際ボランティアユニット」に参加して…AMDAの活動、国際ボランティアについて実例をまじえた専門的な話を聞くことができ非常に参考になった。また県下の同世代の人の意見を聞くことができ、今後の活動に活かしたいと思った。(県内高校生)

### 場所・連絡先

住所： 岡山県阿哲郡哲多町大字田淵70  
アクセス： JR伯備線新見駅より車25分  
Tel/Fax： 0867-96-2062／0867-96-3562  
電子メール： secretariat@miic.ac.jp  
HP： <http://www.miic.ac.jp>



○建物の外観



○教室空間を研修室として活用



○教室空間を宿泊室として活用



○食堂の様子



○交流棟、研修棟、宿泊棟、  
管理棟の4つにより構成  
(パンフレットより抜粋)